

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局 地方整備課

担当課長名： 高橋 守人

事業名	町道 朝日豊岡線 <small>あさひとよおかせん</small>		事業区分	北海道	事業主体	北海道								
起終点	自：北海道松前郡松前町朝日 <small>ほっかいどうまつまえぐんまつまえちょうあさひ</small> 至：北海道松前郡松前町福山 <small>ほっかいどうまつまえぐんまつまえちょうふくやま</small>				延長	1.5 km								
事業概要 町道朝日豊岡線は、松前町の朝日地区・上川地区と、高低差があり地形的に分断されている豊岡地区を 経由し、町の中心部である福山地区を連絡する路線である。本事業は、多くが未改良区間である当路線を 拡幅整備し、国道迂回路としての防災をはじめとする地域の生活基盤の強化や松前城周辺へのアクセス向 上による観光振興など地域の振興に資するものである。														
H9年度事業化		H一年度都市計画決定		H10年度用地着手		H10年度工事着手								
全体事業費		約29億円		事業進捗率		70%								
計画交通量		2,900台/日		供用済延長		1.1km								
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 平成18年								
	(事業全体)	(事業)/(事業全体)		(事業)/(事業全体)										
	1.1	9/22億円		24/24億円										
	(事業)	事業費：9.2/22億円		走行時間短縮便益：21/21億円										
	2.6	維持管理費：0.18/0.18億円		走行費用減少便益：2.5/2.5億円										
				交通事故減少便益：0.60/0.60億円										
感度分析の結果 交通量変動：B/C=1.1(交通量+10%) B/C=1.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.1(事業費+10%) B/C=1.1(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.1(事業期間+20%) B/C=1.1(事業期間-20%)														
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある） ・個性ある地域の形成（松前城などの観光資源へのアクセス向上） 外5項目に該当														
関係する地方公共団体等の意見 地元の松前町を含む北海道渡島総合開発期成会から毎年早期整備の要望を受けている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化は特にない。														
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度までに、用地補償72%、改良工事69%、橋梁工事100%の進捗である。残事業は、改良工事 約0.4km、町道交差カルバート1基である。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業着手後、埋蔵文化財の調査等で時間を要したが、現在は解決しており、今後事業が遅延する要因が ないことから、平成23年度の完成が見込まれる。														
施設の構造や工法の変更等 整備計画区間の短縮や土地利用計画の変更に合わせて設計の見直し、再生資源（舗装合材、路盤材等） の使用などコスト縮減を図っている。														
対応方針 ：事業継続														
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
事業概要図														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td></td> </tr> </table>							凡 例		供用中		再評価対象事業		うち供用中	
凡 例														
供用中														
再評価対象事業														
うち供用中														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。